

いけぶち佐知子通信 未来にまっすぐ

2016No.2
(通巻104)

2016/2

吹田市千里山西

5-2-5 7社ビル

06-4861-7418

行政視察のゆり

財政総務委員会の視察

2月2日(火) 東京都府中市
視察テーマは

「公共施設マネジメント」

2月3日(水) 東京都八王子市

視察テーマは

「中核市移行に係る取組」

視察前に委員及び他の議員有志の方を対象に、吹田市の「公共施設等最適化計画」について、学び機会を設定しました。

事前学習会の内容は、行政経営部資産経営室の職員さんに説明していただき、質疑応答をしました。

中核市への移行については、12月定例会前に全議員に配布した資料以上のものではないとのことでしたので、説明は受けず、

近畿圏で中核市に移行した市に、いけぶちが文書紹介を行った結果を委員さんに配布しました。

府中市 視察

府中市は、人口、面積は吹田市の約3分の2で、学校など、公共施設の数も、約3分の2となっており、吹田市と似通ったところが多々あります。交通至便な住宅都市という点も似通っています。

ただし、大きく違うのは、財政面で、府中市の経常収支比率は、85%程度ですが、吹田市は90%後半となっています。

さて、府中市の公共施設マネジメントから、吹田市に生かせるのでは?と思ったのは以下のことです。

○最適化に向けた検討の方向性

①施設総量(ハード面) ②機能(ソフト面) ③運営の見直し
の3つの項目を設定し、①と②のそれぞれにおいて、存続、縮小、処分(貸付・転用・廃止)の3区分でかけ合わせた、9つの区分にそれぞれの施設を分け、検討していました。

*立体的に分析するということは大事な視点だと思えます。

○推進プラン、モデル事業

9つのブロックに分けたのち、短期に対応しなければならぬものについて推進プラン位置づけ、その中から2つのモデル事業を実施していました。

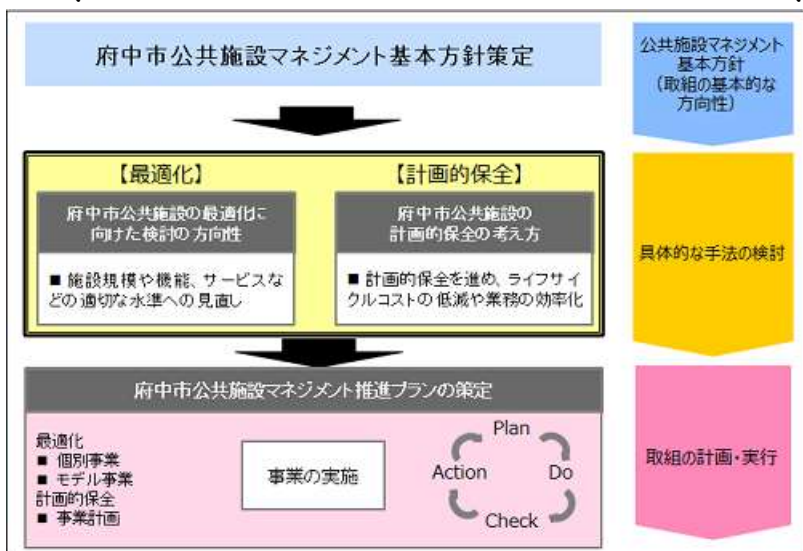
とくにモデル事業の一つである府中駅周辺施設の再編については、民間施設を含め、複数の施設を組み合わせて効率的、効果的な方法を検討されています。

*複数の施設をセットで考えることで、相乗効果が生まれると考えます。

○施設管理のためのマニュアル、手引きの作成

量の最適化の一方、質を高める、劣化を遅らせるために、計画的保全が必要です。実際の施設管理は、技術職ではなく、事務職員が担うので、専門知識がなくてもわかりやすいマニュアル、手引きを作成することも、研修会を行っているとのことでした。

←府中市公共施設マネジメントの進め方(府中市エゴから引用)



八王子市 視察

八王子市は、平成27年4月に中核市に移行した、ほやほやの中核市です。

平成12年の時に一度、中核市移行を検討したそうですが、多分に予算が必要ということで断念したとのことです。平成24年1月に現市長が、中核市移行を公約にして当選したとのこと、吹田市と似通っています。

また、もともと都の保健所は八王子市にあったそうですが、中核市移行より前に、保健所、景観行政を中核市並みに移行しているとのことでした。このことも、府の保健所が吹田市内になることと似ています。

《中核市移行は地方分権》

担当職員さんの話では、中核市移行は、地方分権の一つのツールとして捉え、個別に地方分権の対応ではなく、パッケージで権限委譲を受けられる、と前向きにとらえたとのことでした。当初は、庁内で「なぜ中核市にならないといけないのか」「仕

事が増えるだけ」という声があり、また市民からも「なぜ中核市になるのか」「中核市になると何がよくなるのか」との声があり、四面楚歌だったそうです。

しかし、保健所を都から市に移管したのち、新型インフルエンザの患者が市内で出て、そのときに、都の保健所であれば、情報も指示も時間がかかったところ、市の保健所でしたので、迅速に対処できたと聞きました。

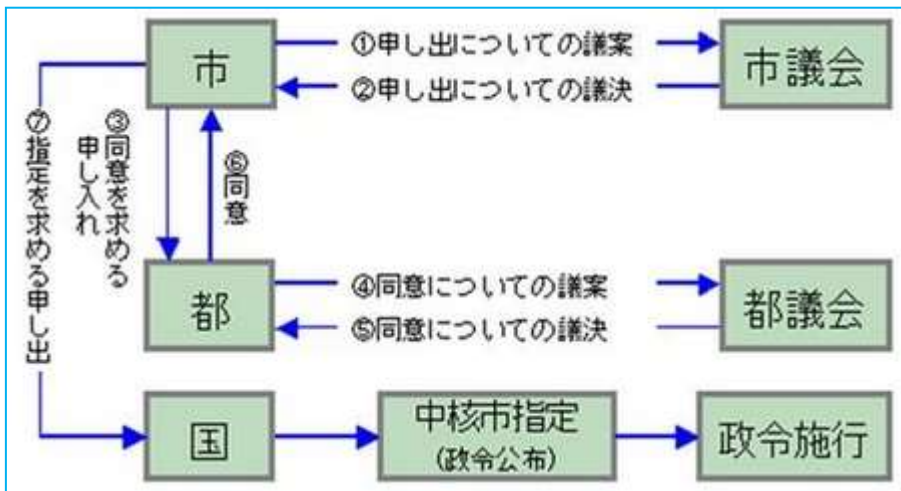
肝は都との交渉で、当初、中核市になると増える事業費などで20億円あると想定していたけれど、都と交渉し、10億円まで圧縮できたとのことでした。

《調査研究から始めた》

さて、八王子市では、執行部職員だけでなく、議会事務局職員さんからもお話を聞きました。議会も当初は中核市移行に賛成の人も反対の人も両方いたようですが、賛成にせよ反対にせよ、調査して検討しなければ簡単に結論を出すわけにはいかない、とのこと、議長からまず会派代表者に意見を求め、調

査研究のための特別委員会の設置を全会一致で決めたそうです。また、この特別委員会の設置目的を途中から調査検討だけでなく、中核市移行の可否について意思決定できるように、設置目的を変更したとのことでした。

←八王子市の中核市移行の流れ (八王子市エモから引用)



吹田市議会も、中核市移行には、積極的賛成の議員も、反対の議員も、まだ決めかねている議員もいると思いますが、まずは、調査研究、協議、検討しなければ、始まらないのではないかと思います。

* 後日談 *

視察後開催された吹田市議会の議会運営委員会で、中核市移行に関する特別委員会を設置しようという方向が決まりました。詳細は、今後詰めていくようですが、5月定例会の役員選出の中で特別委員を決めていくようです。

一歩一歩ですが、議論する議会に向かって、変わってきている気がします。



いけぶち佐知子事務所
吹田市千里山西5-2-5



平日 10時~15時 OPEN